

令和 6 年度 通常支部総会及び勉強会の報告

1. 日 時：令和 6 年 11 月 2 日（土）11 時 30 分より昼食会
2. 場 所：リンクモア平安閣市民ホール（青森市）

昨年と同様、好評でしたので総会前に会場 1 階にあるレストランでバイキング式ランチをとりました。1 年ぶりの顔合わせで、懇親会宜しくすっかり打ち解けて、次の会議が和やかに進行することができました。

3. 13 時より総会

出席者：支部会員 8 名中 7 名＜出席率 75%＞（含む付添 1 名）

本部より平澤理事

※今回は残念ながら、予定していた顧問講師と機器メーカーさんが他の医療会合の為、欠席となりました。

先ずは、支部長より未だ収束にないコロナ禍の中、このように参加され会員の皆様に感謝の意が述べられ、次に出席者の自己紹介並びに近況報告が行われました。



審 議

- 1 号議案：令和 5 年度（令和 6 年 3 月迄）の庶務、事業報告について新型コロナウイルスは今後の収束は無理で通常のインフルエンザと同様に日常生活に定着するようなので、各自、自己の健康管理を怠らないように留意するよう、お互い確認しあいました。また、本部より定期的に理事会議事録が送られてきているので、支部としての対応をしていることを報告しました。また、年 1 回の東京で行われる全国支部長会、総会に支部長都合により、欠席となりました。
- 2 号議案：令和 5 年度の収支決算書について
- 3 号議案：次年度の活動目標
 - ① 地区ごとの茶話会、食事会の開催
 - ② 新入会員入会の為に役所の障害福祉課へのパンフレットの配布
 - ③ 会員相互の情報交換親睦の為に「ミニ会報」の作成等々
- 4 号議案：青森県支部会員規約により役員の任期は 2 年となっており、会員の若返りが急がれます。会場を借りる為には、どうしても活動、

組織人員が必要になりますので、ご理解、ご協力を会員にお願いしました。

4. 14時より勉強会

(相談役の弘大准教授 佐々木真吾先生が欠席されたので) 急遽、本部の平澤理事による勉強会をお願いしました。

演題は「EV 自動車などからのペースメーカーへの影響について」としてお話があり、日常生活を健康的に過ごすための注意することなどが話されました。

また、平澤理事には青森県支部をバックアップするため、前日より泊りがけで、支部長同行のもと、青森県立中央病院医療連携部、青森市民病院医事運営チーム、青森県障害者福祉課、青森市障害者支援センター、青森市企画広報広聴課へと足を延ばし「友の会」の広報活動を精力的に行いました。



佐々木真吾先生の手術成功が 東奥日報に掲載

毎年、青森県支部総会でご講演を頂いております佐々木真吾先生（弘前大学医学部附属病院）が、EV-ICD（植込み型除細動器）の施術で、従来、リード線は血管内を通し心臓内部へ留置していたものを、血管や心臓の

外側へ置くことで、血管の損傷、血管閉塞などの合併症を回避することができることとなりました。また、3月1日からは保険適用されることともなっております。既に、西日本の大阪、岡山、北九州では植込み手術がおこなわれているのですが、東日本では弘大が初めて取り組みとなっております。この詳細報道が3月5日付けの東奥日報トップページに掲載されましたのでご紹介いたします。

尚、同先生のご講演は昨年1月号で感染症をテーマとした「ペースメーカーで健康な生活を」を掲載しております。